

神立病院回復期リハビリテーション病棟
実績データ

目次

I	調査の目的	3
II	調査概要	3
	1.調査対象	3
	2.調査内容.....	3
III	調査結果	4
	1.年齢構成割合	4
	2.原因疾患	5
	3.入棟日数	6
	4.入退棟経路【入棟】	7
	入退棟経路【退棟】	8
	5.入棟時 FIM.....	9
	6.退棟時 FIM.....	10
	7.実績指数	11
	8.まとめ.....	11

I 調査の目的

当法人の回復期リハビリテーション病棟は2006年に開設されている。前理事長の「心豊かな地域づくり」の想いを持ち、より元気な人があふれる街になれるようリハビリテーションを提供してきた。また2024年からは診療報酬が改訂され、患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制やアウトカムに着目した評価の推進が求められる。

そこでより質の高い医療を提供するためにも当法人の回復期リハビリテーション病棟に関するデータを収集し、分析することが必要と考え今回の調査に至った。

II 調査概要

1 調査対象

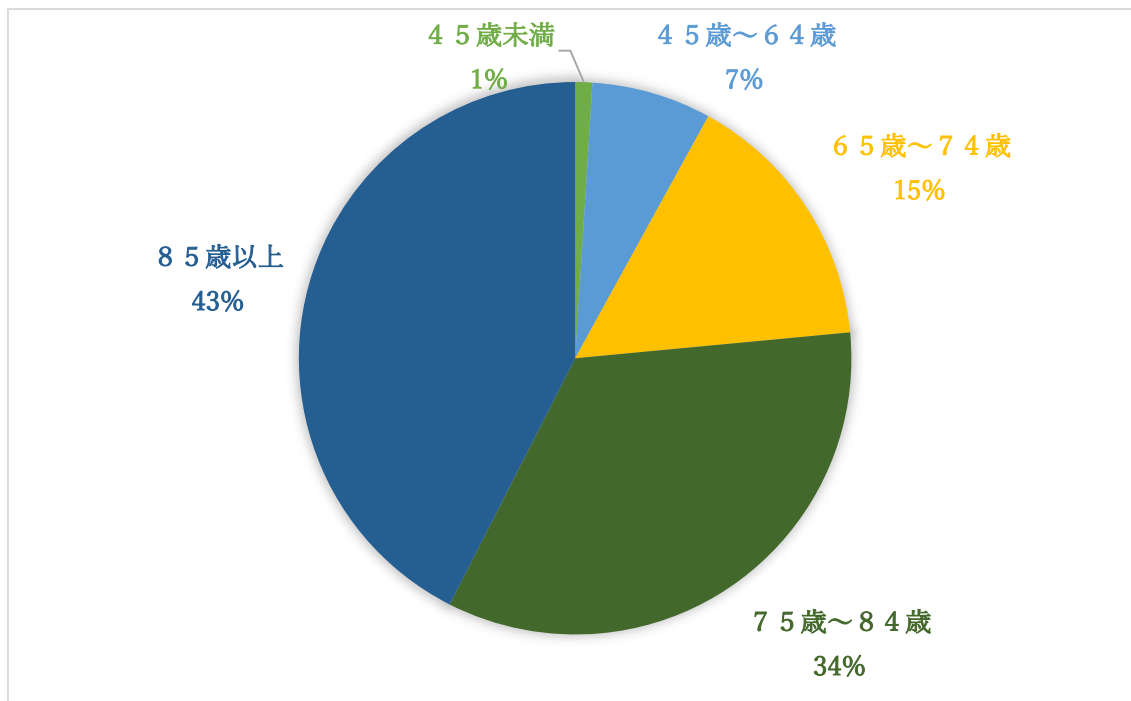
調査対象期間は2023年1月1日から2023年6月31日までの間で入棟した患者とした。

2 調査内容

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会より発行された「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」をベースに年齢構成割合・原因疾患・入棟日数・入退棟経路・入棟時、退棟時 FIM・実績指数を調査した。

Ⅲ 調査結果

1.年齢構成割合



	神立病院データ	全国データ
45歳未満	1%	2.3%
45歳～64歳	7%	11.9%
65歳～74歳	15%	19.3%
75歳～84歳	34%	34.1%
85歳以上	43%	32.5%

【分析】

75歳以上の入院患者が77%となっている。全国データと比較しても高い数値となっている。これは市町村の高齢化率が高まっていることが要因の一つと考えられる。

土浦市 (28.8%)

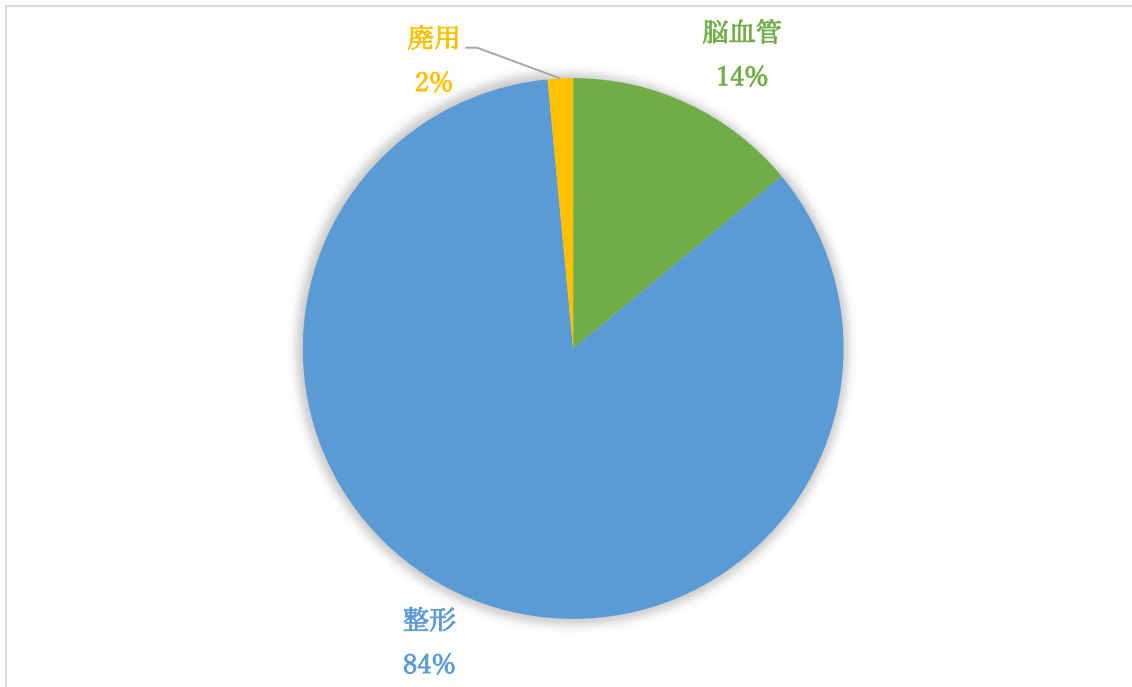
かすみがうら市 (31.9%)

石岡市 (32.8%)

行方市 (36.1%)

※2020年国勢調査調べより引用

2.原因疾患



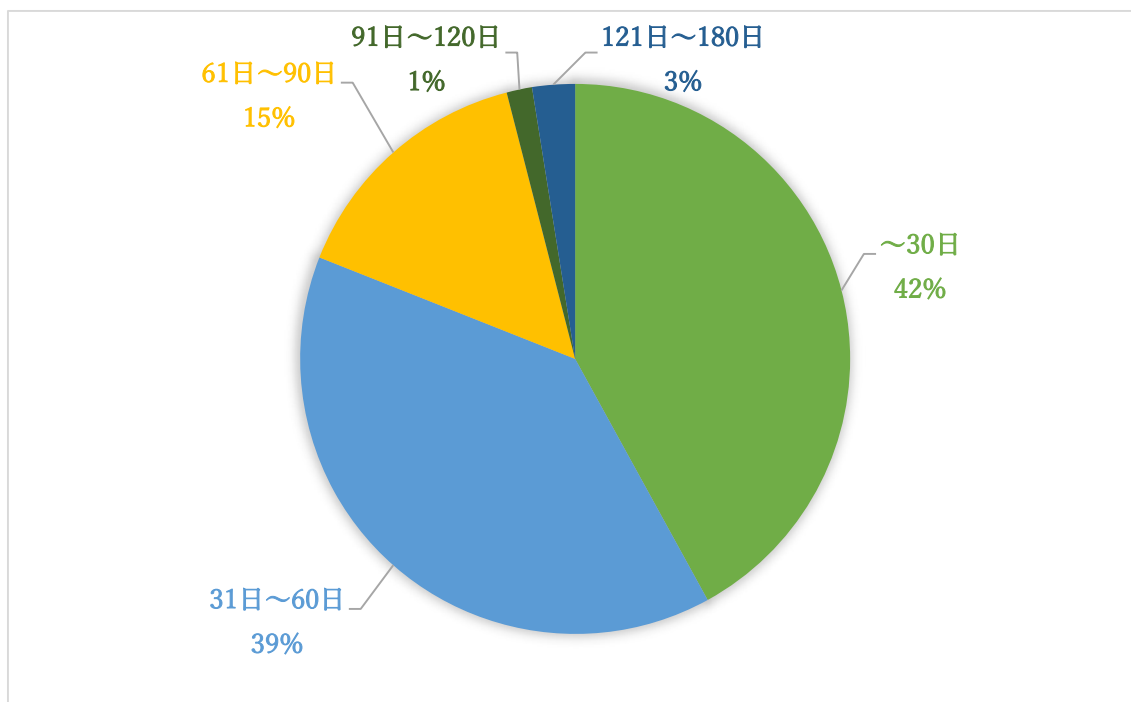
	神立病院データ	全国データ
脳血管	14%	43.8%
整形	84%	46.4%
廃用	2%	8.0%

【分析】

全国データと比較して整形疾患が約40%多い値となっている。

これは当院での整形外科手術件数（1月～6月）が約250件であるため整形疾患の入棟人数が増えたと考えられる。

3.入棟日数



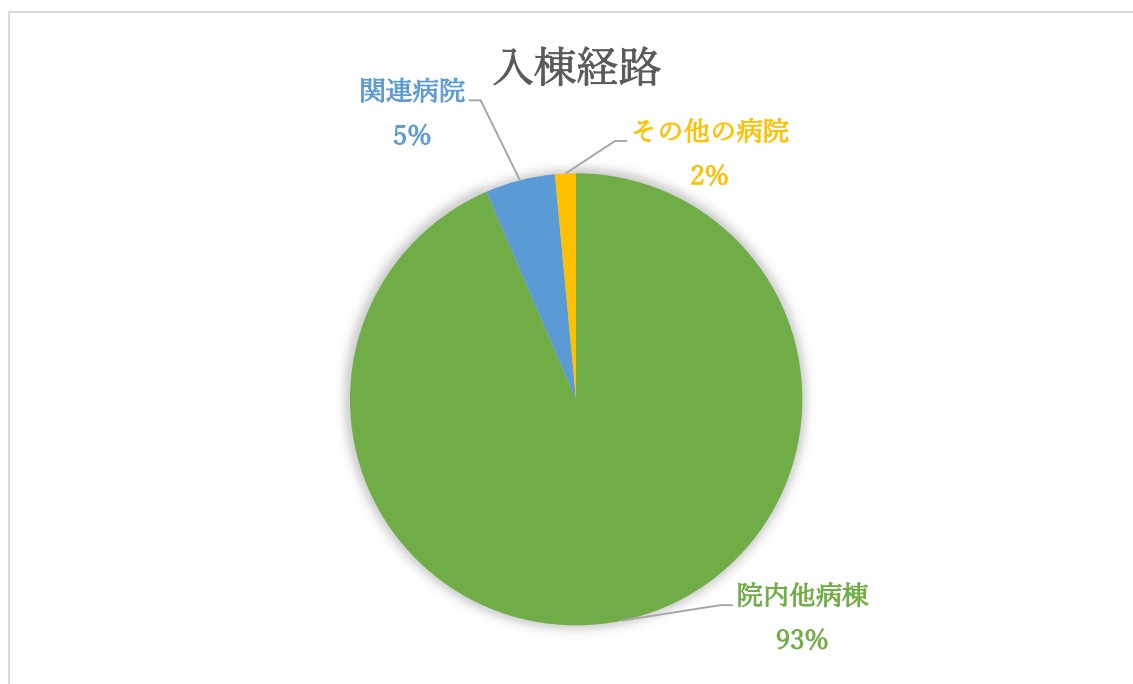
	神立病院データ	全国データ
~30日	42%	20.5%
31~60日	39%	29.3%
61~90日	15%	30.9%
91~120日	1%	8.1%
121~180日	3%	7.1%

【分析】

入棟から 60 日以内に退院した患者の割合が 81%となっている。全国データと比較しても約 40%以上高い値となっている。これは整形疾患の割合が多いことも考えられるが毎週行われている Dr カンファレンスやリハ栄養カンファレンス、定期的に行っている病棟カンファレンスや身体機能評価（アセスメントシート・S I A S 等）を実施しているため退院支援と身体機能・能力改善の 2 つの側面に対してアプローチ出来ていることが要因の一つと考えられる。

4.入退棟経路

【入棟】

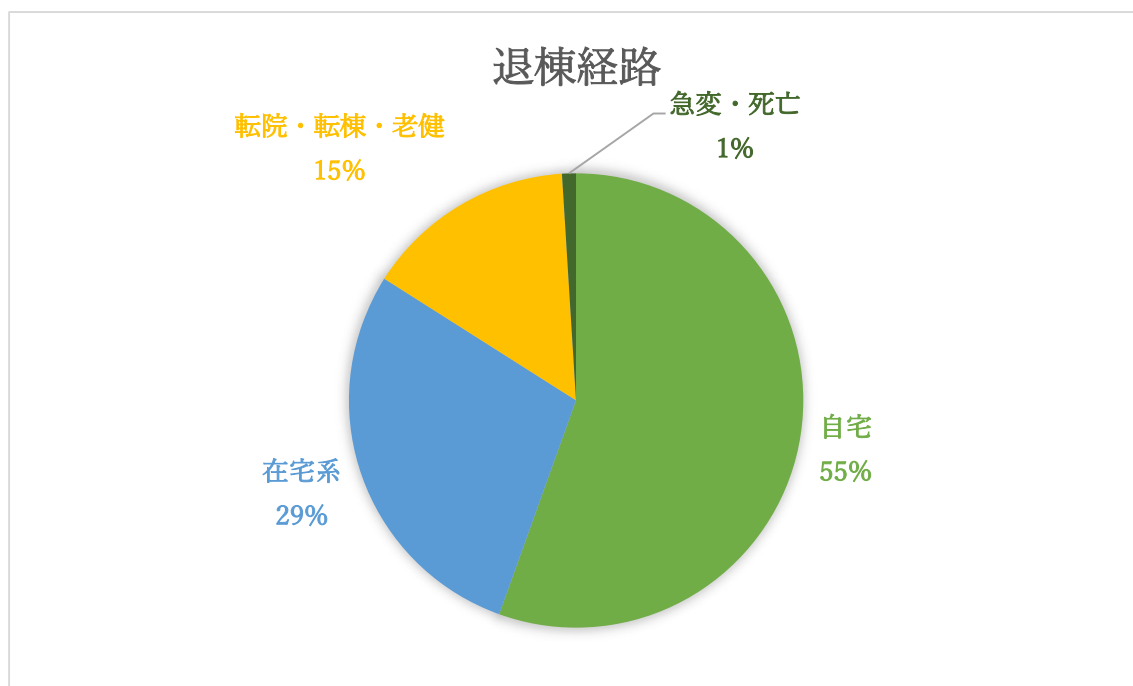


【分析】

入棟経路に関しては約 90%以上が院内他病棟からとなっている。当院での整形外科手術件数が多いことから術後早期の患者様でも在宅退院に向けて回復期病病棟に転入するといったケースが多い。

入退棟経路

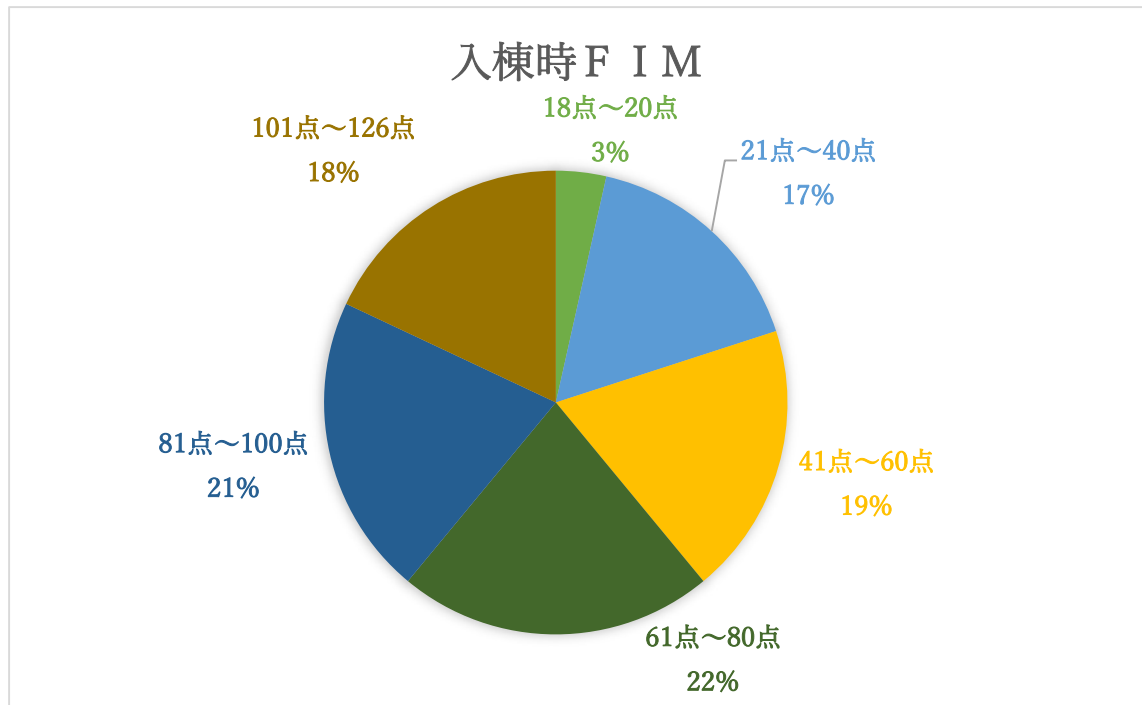
【退棟】



【分析】

退棟経路に関しては自宅退院が 55% 在宅系退院が 29%となっている。その理由としては入棟経路の約 9 割が院内他棟であるため当院の急性期病棟から回復期病棟への転棟の際に申し送りを十分に行えていることが理由として挙げられる。具体的には自宅・在宅系での生活イメージが付きやすいことや治療プログラム自体も急性期病棟時の内容を引き継げるため、途切れずにリハビリを提供できている。その結果、84%の患者様が自宅・在宅系への退院を実現することが出来たと考える。

5.入棟時F I M

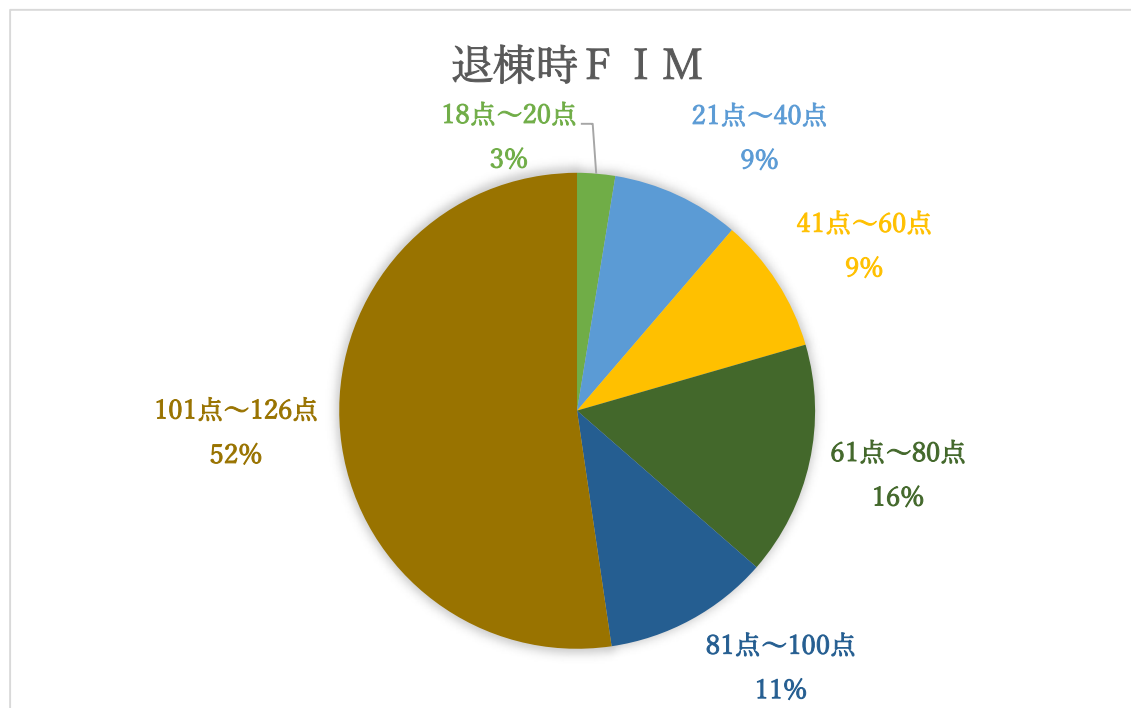


	神立病院データ	全国データ
18点~20点	3%	4.9%
21点~40点	17%	17.7%
41点~60点	19%	22.8%
61点~80点	22%	22.3%
81点~100点	21%	21.1%
101点~126点	18%	11.2%

【分析】

入棟時F I Mが101点以上の患者の割合が全国データと比較してやや多い。これは65歳以下の入棟患者が全体の24%となっていることと整形疾患割合が85%になっていることが要因の一つと考えられる。

6.退棟FIM



	神立病院データ	全国データ
18点～20点	3%	3.5%
21点～40点	9%	9.1%
41点～60点	9%	9.7%
61点～80点	16%	11.5%
81点～100点	11%	16.0%
101点～126点	52%	50.3%

【分析】

101点～126点の間で退棟した患者は全国データと同様の値となっている。当院では75歳以上の患者が全体の76%いる中でFIMが101以上に改善している。入棟日数の分析同様に退院支援と身体機能・能力の改善の双方でアプローチできているためFIMの改善に繋がったと考える。

【7.実績指数】

1月	41.78
2月	49.88
3月	55.86
4月	54.31
5月	54.46
6月	78.59

【まとめ】

全国データと比較し、年齢構成割合をみると75歳以上の高齢者が約10%多い値となっている。後期高齢者の入院患者が多い状況でも退院時のFIMが101以上にまで改善し、約80%が自宅・在宅系の住居に退院出来ていることから高い水準でのリハビリテーション・退院支援が行えていると考える。これは全国データと比較してもほぼ同様の数値となっているため裏付けされている。